

# ファクトチェック・イニシアティブ 2024年の活動報告

## ファクトチェックの 認知・信頼向上

セミナーやSNSの情報発信、ファクトチェック結果を収録したウェブアプリ運営等を行っています

## メディア・企業・市民 との連携

メディアへの情報提供やファクトチェックプロジェクトは多様なセクターとの協働で実現しています

## ファクトチェック支援 システムの開発・運用

多くのメディアがFIJの支援システムを利用してファクトチェックに取り組み、成果を上げています

FIJはさまざまな取り組みを通じてファクトチェックの担い手を支援し、  
ともにより多くの良質なファクトチェックの発信に取り組み、  
誤情報や偽情報に惑わされにくい社会を目指しています。 [\[団体概要\]](#)



特定非営利活動法人ファクトチェック・イニシアティブ

(7月11日発表、大賞は該当なし)

### ひろゆき氏「沖縄は親を寝たきりにして年金で暮らす」をファクトチェック【沖縄タイムス】

検証の手続きが丁寧に説明されている。公開されている政府統計データをもとにチェックを行うことは誰にでも可能と示した記事。

### 政治資金問題に関する記事3本【InFact】

重要な問題に対して質実剛健な検証。政治と金の問題について言われがちな伝説に関して注意すべきポイントをシンプルに伝えており、予防的な効果も発揮。

### 新型コロナ禍での感染対策に関する記事3本

【InFact】

根拠となる論文等に丁寧に当たっておりオーソドックスなアプローチとして納得感が高い。レーティングに慎重な姿勢が見られ公正性が感じられる



[アワード2024受賞作品](#)  
[アワード授賞式映像](#)

### のり弁当の添加物表示ラベル画像は正確 偽造疑う指摘拡散も【リトマス】

Xの投稿とそれに付けられたコミュニティノートとの両方をチェック。コミュニティノートも鵜呑みにすべきでないという事実を示した好例。

### JAL機と衝突した海上保安庁機(JA722A)がフライトレーダーに表示されない理由【ryo-a】

※個人事故後7時間足らずで発信し、これを引用したポストも数多い。一般読者にもわかる丁寧な解説を個人が行ない、検証方法の透明性も高い。ジャーナリストが専門家に聞いてはこのようなタイムリーに書けない。



2024.06.25 お知らせ

## 「ファクトチェック白書2024」 を公開しました

ファクトチェック・イニシアティブ（FIJ）と早稲田大学次世代ジャーナリズム・メディア研究所（INGJM）が共同で作成した「ファクトチェック白書2024」をFIJウェブサイトで開催しました。日本および世界のファクトチェックの歴史、現状、課題について包括的に記述した初めての報告書となります。

[ファクトチェック白書2024\(PDF\)](#)

活動トピックス： ClaimMonitor事業 / 能登半島地震発生日に人員を増やして対応（1月1日）

2024年1月1日 FIJのデータベースClaimmonitorに登録された“疑義言説” （能登半島地震発生以後）	登録日時	登録時インプレッション
こんなの自然地震の波形じゃないP波がなくいきなりS波	公開済み 2024年1月1日 6:14 PM	1231fav, view50万超
（能登半島地震）前日の（能登町変電所付近の）爆発音は人工地震の工作	公開済み 2024年1月1日 6:16 PM	リポスト1,510 いいね3,061
（動画）（能登半島）津波到達	公開済み 2024年1月1日 7:43 PM	リポスト322 いいね890
柱に挟まれている人を見つけたら...（画像）	公開済み 2024年1月1日 7:44 PM	1.1万リポスト
志賀原発付近には断層ゼロだった	公開済み 2024年1月1日 7:46 PM	1000リポスト
息子がビデオデッキに挟まって動けません	公開済み 2024年1月1日 7:50 PM	114リポスト（同アカウントで複数の類似投稿あり）
地震による津波の映像3、堤防越えてます逃げて（動画）	公開済み 2024年1月1日 8:33 PM	164リポスト
ドアが壊れた（画像）	公開済み 2024年1月1日 9:01 PM	2003リポスト #能登地震
（画像）新年初津波	公開済み 2024年1月1日 11:20 PM	リポスト4,779 いいね611
東日本大震災 災害復旧 自衛官12万人の投入に反対したのは自民	公開済み 2024年1月1日 11:35 PM	リポスト2,451 いいね4,783
イーロン・マスク 日本で地震が起きたこと自体に興味がない	公開済み 2024年1月1日 11:56 PM	リポスト617 いいね2,683

## デジタル空間における情報流通の健全性確保の在り方に関する検討会「とりまとめ(案)」へのFIJ意見書<要旨>

政府・地方公共団体による民間部門への「偽・誤情報等の流通への対応（削除等）の要請」の「要請」には強制力を持つ場合も指摘されており、表現の再考を求める。

「ファクトチェック機関の独立性確保に留意」では、政府から支援を受けたファクトチェック団体が出現する事態が危惧される。「独立性確保が必須」とすべき。

「違法性はないが、有害性や社会的影響の重大性が大きい偽・誤情報」の「有害性」「重大性」について具体的に示すべき。

偽・誤情報対策を検討する「協議会」について、政府など公的機関から独立性を有することを明記し、政府もそれを認めることが不可欠。



The screenshot shows the FIJ logo at the top right, with the text "ファクトチェック・イニシアティブ" below it. To the right of the logo is the character "援". Below the logo is a navigation bar with "ホーム" and "お知らせ" links. The main content area features a date "2024.08.15" and the word "お知らせ". The headline reads: "政府から独立した民産学主体の偽情報・誤情報対策の明記が必要—総務省検討会とりまとめ案に対するFIJの見解—". Below the headline are social media sharing buttons for "B! 0", "いいね! 7", "シェアする", "ポスト", and "LINEで送る". The main text of the article begins with: "総務省の「デジタル空間における情報流通の健全性確保の在り方に関する検討会」（以下検討会）が、日本における偽情報・誤情報（以下偽・誤情報）対策のとりまとめ案[1]を公表しました。根拠に基づいて情報の真偽を検証するファクトチェックの重要性を指摘しており、その点については、2017年の設立以来、日本におけるファクトチェックの支援・推進活動に取り組んできた私たち特定非営利活動法人フ".

## 活動トピックス：総務省「検討会」の偽・誤情報対策に意見 — パブリックコメントとしてあらためて提出し、一部が反映される

右の欄「考え方」が検討会側による回答。2件の意見が反映され、文言が変更された。

意見 5-2-13	考え方 5-2-13
<p>左記引用部分は、別紙 P.326～333「3. 偽・誤情報に対するコンテンツモデレーションの実効性確保に向けた方策」の記述からして、政府・地方公共団体が、偽・誤情報の削除を含む対応(コンテンツモデレーション)をPFに要請等をするを指しています。政府が使用する「要請」という言葉は強制力を持つ場合も指摘されています。政府による偽・誤情報の削除の要請を含む上記表現は再考を求めます。</p> <p style="text-align: right;">【特定非営利活動法人ファクトチェック・イニシアティブ】</p>	<p>頂いた御意見を踏まえ、P256「①政府に期待される役割・責務」及びP257「②地方公共団体に期待される役割・責務」を「情報伝送PF事業者や広告仲介PF事業者をはじめとする民間部門との間で、偽・誤情報等の流通への対応に関して適切なコミュニケーションを行い、その透明性・アカウントビリティを確保すること」に修正します。</p>
意見 6-2-15	考え方 6-2-15
<p>この文中の「留意」は「心に留める」という意味であり、「必須」とは大きく異なり義務性をもたない言葉です。また、「政府からの独立」という具体的な表現もみられません。こうした記述の曖昧さにより、例えば、政府から資金的あるいは政治的な支援を受けたファクトチェック団体が出現したり、特定の政治的主張を目的とする団体が国際的な基準を無視して「ファクトチェック団体」を名乗り政府に批判的な言説を「ファクトチェック」と称して批判したりする事態が危惧されます。それを防止するためには、より厳密な表現が求められます。具体的には「政府・公的機関などからのファクトチェック組織の独立性確保が必須」との明記が必要だと考えます。</p> <p style="text-align: right;">【特定非営利活動法人ファクトチェック・イニシアティブ】</p>	<p>御指摘のとおり、ファクトチェック組織の独立性確保は非常に重要であると考えていますが、ツールの提供等の政府による一定の支援はあり得るため(意見 5-3-4参照)、「政府・公的機関などからのファクトチェック組織の独立性が確保されるべきである」に修正します。</p>

[「デジタル空間における情報流通の健全性確保の在り方に関する検討会とりまとめ\(案\)」に対する意見募集結果](#) (総務省)  
[検討会「とりまとめ」最終版](#) (総務省)

## 活動トピックス：「ファクトチェック・ナビ」の改修（4月1日リリース）

トップページには、ファクトチェック記事と偽誤情報問題関連記事の新着を統合して表示、SNSでこまめにアクセス誘導（新着ファクトチェック記事の紹介投稿のたびにトップページへのリンクを案内）

The screenshot shows the homepage of 'FactCheck Navi'. At the top, there is a dark red header with the site name 'ファクトチェック・ナビ FactCheck Navi' on the left, a '情報提供はこちら' button on the right, and a hamburger menu icon. Below the header is a search bar with the placeholder text 'キーワードで検索' and a '検索' button. A light grey banner below the search bar contains the text 'お知らせ ゼヒススマートフォンでご利用ください'. The main content area features a large blue banner with the title '衆議院選挙のファクトチェック' and the subtitle 'ファクトチェック記事リンク集はこちらをクリック'. Below this banner is a grid of category buttons: '衆院選2024(関連ニュースとファクトチェック)', '米大統領選', '偽情報対策', 'AIテクノロジー', '医療・健康', '自然災害(地震・台風)', '移民・難民・在留資格', 'パレスチナ', 'ウクライナ', '調査報告・提言リンク集', and '旧検索画面[~2024年3月]'. A '新着' section contains a button 'ファクトチェック一覧 >'. Below this is a news snippet: '国民民主の原発増設方針「公約になかった」は誤り 公約に明記【リトマス】' with a share icon. The date '2024.12.17' is displayed to the right. At the bottom, there is a row of tags: 'ファクトチェック記事', 'リトマス', '原発', '国民民主党', and '衆院選2024のファクトチェック'.

## 2024年度 各事業の取り組み状況

### (1)ファクトチェックに関するガイドライン等の整備・啓発事業

#### ▼情報発信事業

①**FactCheck Navi** ファクトチェック記事登録件数（括弧内は関連ニュース含む全件）

4月29件 [78件]、5月26件 [77件]、6月20件 [81件]、7月21件 [80件]、8月30件 [103件]、  
9月33件 [109件]、10月47件 [127件、衆院選で増加]、11月29件 [102件]、12月36件 [85件]  
4月1日に改修版リリース

②**SNS発信** 新着ファクトチェック記事の紹介投稿のたびにFactCheck Naviに誘導するリンクを投稿。アワード関連、総務省への意見書公表、災害時の注意喚起などの発信を実施。

③**セミナー** 前期は開催せず。他の公開行事としてアワード授賞式を開催。

後期はセミナー担当理事が主導し、メディアにファクトチェック実施を促すことを主眼としてファクトチェック実践者に登壇いただく企画を年度内実施予定。

④ **ファクトチェック白書2024**を24年3月末に共同事業者の早稲田大学側に納品後、早稲田側による増補が行われたPDF版を6月25日にFIJウェブサイトで公開。

⑤**大学における講義**（事務局にて実施）

7月3日 大東文化大学 野嶋剛ゼミ

12月16日 目白大学メディア学部：メディア・リテラシー概論

12月19日 明治大学政経学部：メディアリテラシー論



## (2)ファクトチェックに関する国内外の団体及び市民との連携・協働事業

### ▼疑義言説モニタリング等による活動協力

#### ①**ClaimMonitor**登録実績（括弧は前年同月の件数）

4月146件（128）、5月117件（126）、6月113件（117）、7月120件（127）、8月170件（115）、9月179件（114）、10月232件（127）、11月163件（122）、12月153件（132）

10月にX(Twitter)の有料アカウント1件を新たに用意し、検索ツール「X/pro（旧Tweetdeck）」を設定してClaimMonitor登録作業者に開放、総選挙対応で作業者稼働時間も増やし（10月は通常約25%増の約125時間）、10月の登録件数は22年6月以来の200超となるなど、8月以降は前年比3割増以上の登録件数を確保。

②**FCC**再稼働に向けて、総務省とのミーティングや総務省検討会での5/24発表において、XのAPI利用の重要性を再三強調。総務省「とりまとめ案」にはPF事業者から「マルチステークホルダー等に対する情報やデータ提供を制度的に担保する仕組みを検討」などの記述が盛り込まれており、これについて8月パブリックコメントにて高い優先度での取組を要望した。

### ▼ファクトチェックアソシエイトの育成

▪ ClaimMonitor業務および事務局補助業務担当として1名（「ファクトチェック白書」執筆者）、ならびにインターン1名（NPO法人ドットジェーピーより紹介）を含む学生3名に、ノウハウ提供と疑義言説探査の依頼を実施

## (2)ファクトチェックに関する国内外の団体及び市民との連携・協働事業

### ▼その他の実績

総務省「デジタル空間における情報流通の健全性確保の在り方に関する検討会」にFIJとして5月10日よりオブザーバー参加、瀬川理事長が発表を実施（5月24日）。8月に「とりまとめ案」に対し意見書を公表し総務省に送付、パブリックコメントも提出し一部が最終文書に反映される。

総務省「インターネット上の偽・誤情報対策技術の開発・実証事業」に採択された一事業に参画、株式会社データグリッドの偽誤情報検出技術の実証実験を11月11日より開始。12月中旬から第2フェーズ、1月中旬から第3フェーズで機能や検証対象が順次拡大される予定。（～25年3月）

## (3)ファクトチェックに貢献する団体・個人に対する評価・支援事業

### ▼ファクトチェック作品の顕彰（ファクトチェックアワード）

4/11募集開始、選考委員会2回を経て、7/11授賞式実施。

来年も開催する方向で理事会で確認された一方、応募者（自薦他薦）の増加などの課題あり。受賞者からのモチベーション向上の声をいただくも、より価値を高める施策も必要。